

大使館からのお知らせ（安全情報：最近の邦人関係事件等発生状況）

ここ1ヶ月の間に大使館で認知した邦人関係事件として、邦人旅行者首絞め強盗事件（ヨハネスブルグ）、在留邦人車両盗難事件（プレトリア）が発生しています。また、黄熱病感染国から入国しようとしたものの、黄熱病予防接種証明書（イエローカード）を所持携帯していなかったため退去処分となった邦人旅行者の事案もあります。それぞれの事件・事案概要は次の通りですが、旅行者に係わる事件につき在留邦人には関係ないと油断することなく、ご家族を含めた安全対策には万全を期すようお願いいたします。

1 在留邦人の車両盗難事件（プレトリア）

- (1) 発生日時：6月6日（金）午前10時30分頃
- (2) 発生場所：プレトリア市内 Lynwood 地区駐車場
- (3) 発生状況：所属先会社が利用している駐車場に駐車していた車両(Toyota Fortuner)ごと盗難にあったもの。
- (4) 被害状況：車両の盗難。また、車両内に入れていた旅券、本邦運転免許証等。
- (5) 安全対策：いつも利用している駐車場だからと言って油断しない。車両をオートロックしても、ジャミングされるおそれがあるので、ドアがロックされているか手で確認する。また、短時間であっても車両を離れる場合には旅券等貴重品はトランク内を含め車内に置かない。

2 邦人旅行者首絞め強盗事件（ヨハネスブルグ）

- (1) 発生日時：6月21日（土）午前8時頃
- (2) 発生場所：ダウンタウン Park Station バスターミナル付近
- (3) 発生状況：
 - ア モザンビークからの夜行バスで到着後、マセル（レソト）行のバスに乗り換えようとしたところ、マセル行きバス乗り場まで案内すると話しかけてきた黒人男性の後について移動。
 - イ 人通りの多い道路であったが、突然、背後から首を絞められると同時に前方から3～4人に襲いかかられ気を失った。
- (4) 被害状況：気を失っている間に所持品全て（バックパック、旅券等貴重品の入ったバック）奪われた。首を絞められ気を失うも、命に別状はなかった。
- (5) 安全対策：バスターミナル以外でもヨハネスブルグ中央駅付近ではこれまでも旅行者が首絞め強盗被害に遭っていますので、ダウンタウンには日中でも近づかない。

3 邦人旅行者の入国拒否事案

(1) 発生日時：7月2日(火)

(2) 発生場所：ヨハネスブルグ国際空港 (O.R. Tambo International Airport)

(3) 発生状況：西アフリカの黄熱病感染国(ナイジェリア)から入国しようとした際、入国審査で黄熱病予防接種証明書の提示を求められたが所持していなかったため、入国を拒否され、その日の便で退去処分となったもの。(ナイジェリア入国時には提示を求められておらず、そもそも同証明書を所持しなければならないことを認識していなかった。)

(4) 対策：南アフリカ保健当局は、黄熱病感染国からの南ア入国に際しては、入国審査で黄熱病予防接種証明書(原本)の提示を求めており、提示出来ない場合には今回のように入国を拒否する措置を講じています。黄熱病感染国への渡航に際しては黄熱病予防接種証明書を忘れに携行するようお願いいたします。

【参考】南ア入国時に黄熱病予防接種証明書が求められる黄熱病感染国(南ア保健省)
Angola, Argentine, Benin, Bolivia, Brazil, Burkina Faso, Burundi, Cameroon, Central African Republic, Chad, Colombia, Guinea-Bissau, Congo, Cote d'Ivoire, Democratic Republic of the Congo, Ecuador, Equatorial Guinea, Ethiopia, French Guyana, Gabon, Ghana, Guinea, Kenya, Liberia, Mali, Mauritania, Niger, Nigeria, Panama, Paraguay, Peru, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Somalia, Sudan, Surinam, Togo, Trinidad and Tobago, Uganda, United Republic of Tanzania, Venezuela, Zambia

(了)